

交流

2015年1月
vol. 886

目次

CONTENTS

デザインが結ぶ日本と台湾 ～グッドデザイン賞にみる台湾デザインの発展と、 日台相互連携の可能性～	1 (青木史郎)
台湾駐在・再訪記	11 (市川隆治)
【台湾内政をめぐる動向】 「九合一」選挙後の情勢と陳水扁前総統の「仮釈放」	18 (石原忠浩)
台日同名32駅・同名さん駅長体験付台湾旅行への参加	26 (松寺 富貴子)

※本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、公益財団法人交流協会の公式意見を示すものではありません。

※本誌は、利用者の判断・責任においてご利用ください。

万が一、本誌に基づく情報で不利益等の問題が生じた場合、公益財団法人交流協会は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● ● 交流協会について ● ●

公益財団法人交流協会は外交関係のない日本と台湾との間で、非政府間の実務関係として維持するために、1972年に設立された法人であり、邦人保護や査証発給関連業務を含め、日台間の人的、経済的、文化的な交流維持発展のために積極的に活動しています。

東京本部の他に台北と高雄に事務所を有し、財源も太宗を国が支え、職員の多くも国等からの出向者が勤めています。